

備中狛犬探検隊 活動報告



備中狛犬探検隊

平成19年7月

「狛犬探検を楽しむ」

備中狛犬探検隊・西 廣行

はじめに

備中狛犬探検隊は平成 17 年 3 月 28 日、玉島観光ガイドのメンバーで何か面白いことないかなと雑談しているうち、狛犬の話になり「歴史の勉強にもなるし、**楽しそうなので**、ぜひやろうと」平均年齢 74 歳で**始めた** 7 人の侍のです。

備中狛犬探検隊・目的と目標

岡山県には神社庁に加盟している神社が 1625 神社（平成 19 年 5 月 31 日）あり、そのうち備中に属する（新行政地図）ところが 628 社あります。これらの神社を尋ねながら、①会員同士楽しむこと、②狛犬の記録を通して歴史の勉強のをすることを目的にしました。目的について、隊員で話し合いましたが意見が百出し、狛犬探検を通じやりたいことがそれぞれ違っていることがわかり、共通している①、②にまとめました。目標は備中地区の狛犬を 10 年かけて探検しようということになりました。10 年後には平均年齢 84 歳になっています。

狛犬とは

最初、狛犬の起こりなどについて勉強しました。参考書を読んでみて、いろんな考え方があることに困惑しわれわれの考え方をまとめました。

起源については、「類聚雑要抄」巻 4（1141 年平安後期）という書物があり、それに「左師子於色黄、開口 右胡摩犬於色白、不開口、在角」という記述があり、「天

皇、皇后の御帳臺（御簾）の前にしつらひ、臣下は憚りおくと・・・」あるので、
この内容で説明をしようと言うことにしました。また、狛犬の説明には国立京都博物館の考え「一般的には「狛犬」として知られている獅子・狛犬ですが、本来は角があるのが狛犬で、無いほうが獅子であるという区分もかなり知られてきたようです。なぜ本来は獅子と狛犬に区別されていたものが狛犬とだけ呼ばれるようになったかは不明ですが、現存する作例を見る限り、角を持った想像上の動物（狛犬）を獅子と一対にして守護獣とするのは、わが国に特有のことです。その意味で狛犬はわが国オリジナル守護獣ということがいえるでしょう。ちなみに近世に製作された石造の「狛犬」は、実は中国伝来の獅子二頭の組み合わせであることも多いのです。
身近な狛犬を角の有無を基準に見てみるのも面白いかもしれません。」（京都国立博物館のパンフレットより）これで進めよう決めました。また狛犬の起源や考え方については、いろんな考え方があるので探検隊以外の人たちと議論はせず、話をするのは「足を運んで探検した事実」のみにすることにしました。

備中狛犬探検隊の名前はこうして付けました

35年位前地元の新聞にまりを抱いた狛犬が尾道で作られ、この地方に多くあると言う記事を読みました。その方は「備中狛犬」と命名したとあり、このことに非常に興味を持ち、頭の中に残っていました。また、備中地方を探検の対象にすると決めたので、これも含め、備中狛犬探検隊と名前をつけました。

楽しくやろうよ

青春とは「人生のある時期をいうのではなく、心の持ち方をいう・・・」ウルマンの詩のとおり平均年齢 74 歳の備中狛犬探検隊はスタートしました。面白くやるならもうひとつ面白くと、全員に役職を老中、大目付、勘定奉行、寺社奉行、雅楽奉行、副隊長、隊長と年齢順につけそれぞれ役割を担ってもらいました。勘定奉行は会計、大目付は外交、隊長は全体の把握と PR、隊の運営全般などとし、顔写真入の名刺を作りました。皆さん面白がってノリノリどんどん配布します。それが縁となり、テレビや新聞に紹介され、さらに元気が出たようです。それともうひとつの楽しみは、昼食です。探検は午前中で終わるようにし必ず食堂に向かいます。御最前は「おふくろ亭、くるくる鮎」です。食べる量も違うし、好みも違う。自分が食べたいものを思いっきり食べれます。そして意見交換？まあ、思いっきり雑談ですね。おもしろいですよ。



備中狛犬探検隊の隊歌

備中狛犬探検隊の隊歌を作ろうということになり「雅楽奉行」が担当しました。

備中狛犬探検隊の唄（原田雅楽奉行作詞）

一・姿形は	それぞれに	造った人の	ノミの技
願った人の	胸の内	我ら狛犬	探検隊
二・ごつい顔した	狛犬さん	口許やさしい	狛犬さん
阿と吽並んで	護るのは	氏子と神社の	しあわせよ
三・夢とロマンの旅に	でる	玉島港から	備中を
狛犬訪ねて	中年の	探検隊は	今日も行く

これは雅楽奉行の作詞した備中狛犬探検隊の隊歌です。「松の木小唄」、「こいのぼり」

のリズムで歌うと調子がいいですよ。現在作曲依頼中ですので、独自のリズムがで

きたら大いに歌い、発表します。

備中狛犬探検隊の運営

隊の運営は隊則に基づき運営しています。隊費を最初 1000 円ずつ出し合い、連絡

費用と資料代に使っています。不足すると 1000 円ずつ出し合います。それ以外の

費用は参加した人それぞれ負担します。たとえば自動車に乗り合わせたら、同乗者

は 1Km あたりいくらというように負担します。遠出は青春切符を利用しています

が、参加者の負担としています。現在まで遠出は全員出席しています。これらの管

理はすべて勘定奉行の役割です。PR にも力を入れてきました。テレビ、ラジオ、

新聞、講座などを通して PR する担当は大目付が担当しています。雅楽奉行は歌の

関連、寺社奉行は神社との交渉に決めています。現在有名無実です。老中は黙っ

て座る役です。作事奉行（普請奉行）は展示会などで、高いところにあがることと、

探検の際の保険加入を担当しています。隊長は探検の企画と資料の準備、探検先の

下見と神社との交渉（隊員へは知らせません）、全員への周知（会報を使い情報を細大漏らさず伝えます）、ホームページの公開で全国の仲間と情報交換などです。おつと、副隊長がいます。副隊長はビデオの収録とあと何でも担当します。探検の記録は全員で分担し、写真撮影、調査票への記入を行います。

PR

PR には力を入れてきました。大目付を中心に、テレビ、新聞、講座など意識して行ってきました。現在までに取り上げられたり、実施したのは次のとおりです。

1・テレビ NHK・岡山で取り上げられ、広島、島根、香川など放映されました。

玉テレ、地元のテレビで何回も紹介されています。

2・新聞 山陽新聞に数回、読売新聞の小冊子にも紹介されています。

3・講座 玉島図書館で 2 回、公民館で 1 回、児童館で 2 回

4・FM くらしき 何度か出していただきました。

5・写真展 玉島図書館、資料館、公民館など

6・小冊子 3 冊の小冊子を出しています。内容は玉島の狛犬ですが、順次まとめ

る予定です。図書館、一般の人など配布しています>

PR の目的は、狛犬の探検は楽しいですよということを紹介し、生涯学習の一環として各地に探検隊ができればなと期待しています。もちろん隊員たちも PR することで元気が出、次の探検に結びつきます。

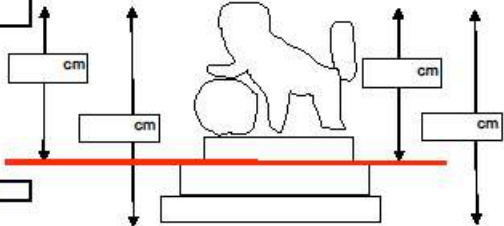
さあ探検しよう！

探検には準備が要ります。記録用紙と探検七つ道具です。

探検 7 つ道具

狛犬探検にあると便利な道具を紹介します。

1・記録用紙に台紙 下図のような様式で記入します。

地図 NO	調査年月日		神社名	
調査 NO	枝番			
no	向かって	左	右	照合
1	寄進日			
2	寄進者名			
3	石工名			
4	狛犬の種類			
5	角の有無	有・無	有・無	
6	阿吽の形式	阿・吽	阿・吽	
7	耳	縦耳・横耳・たれ耳	縦耳・横耳・たれ耳	
8	眉・くちひげ			
9	口	歯 本	歯 本	
10	たてがみ 装飾			
11	尻尾	形状	形状	
12	性別	雄・雌・不明	雄・雌・不明	
13	台石・形、 装飾・水盤	形・装飾 長辺 短辺 高	形・装飾 長辺 短辺 高	
14	うてな (水盤形)	有り なし	有り なし	
15	素材(本体)	御影・砂岩・青銅・備前・	御影・砂岩・青銅・備前・	
16	素材(土台)	御影・砂岩・自然石・ 本体と 同じ・違う	御影・砂岩・自然石・ 本体と 同じ・違う	
17	サイズ			<div>一覧表 入力</div> <div>HP</div> <div>年表入力</div> <div>小冊子</div>
16 MEMO				

K:¥000——狛犬関係——¥000-狛犬探検隊資料……¥00-資料・メモ¥03・記録用原稿¥狛犬観察記
録表note(原本)
2007/6/22

2・懐中電灯 読みにくい字を光を当てて読むのに使います。

3・スプレー水 水をかけると字が浮いてきて読みやすくなります。

4・カメラ（必ず三脚セット） 文字の写真を撮るのに、三脚は必須です。

5・メジャー（サイズを測ります）

6・干支換算表・年代の確認に役立ちます。

こんな準備が必要です。

おっと！

石段が急なので足元注意です。

くだりには必ず手すりを持って下りましょう。

体に自身があっても注意一番です。

玉島の狛犬について調べます

資料別紙（2 PAGE）あります。

玉島の狛犬を社殿の中にある小型の狛犬を除き37について調べてみます。

明細は別紙資料おとおりです。調査票にそって考えて見ましょう。

1・年代（寄進、建立日）

玉島の狛犬37件の内、年代のわかった件数が28件あります。

「資料年代」をみると、玉島の狛犬は明治より古い狛犬が23件（84%）あります。

この数字は、他地区に比べ高い数字になっています。また地域別に見ると備中地方

はおおむね高い数字を示しています。考えられるのは、文化、文政時代大坂で作られた狛犬が北前船に乗り運ばれてきて、経済力のあった玉島が先進地になったのではないのでしょうか。その後、尾道でも狛犬が作られるようになり、隣接地の井原、矢掛にも多く寄進されました。重いものなので物流ができるところが有利になったのでしょう。北前船で運ばれた狛犬と思われるものに、良寛さんの生まれた新潟県出雲崎・石井神社にも備前焼狛犬があり、木村銘が入っています。また鳥取県三保神社にも備前焼狛犬があります。どちらの狛犬も船で運ばれたと想像されます。天保時代になると天保の改革や米騒動など庶民の生活が厳しくなります。（天保2年・大塩平八郎の乱、5年天保の改革始まる）また嘉永になると外国からの圧力が強くなります。（嘉永～外国船頻繁に渡来）狛犬製作は、尾道をはじめ地元玉島でも狛犬の製作が行われ、（玉島・安田屋新蔵など）大原焼き狛犬も製作されます。（文

久元年・羽黒神社） siryo-komainu-kata

2・寄進者

寄進の目的を最初神社のためと思っていたのですが、当たり前のことながら、商売繁盛、家内安全、地域の繁栄などを祈願して建立しています。個人で建立はご夫婦の名前のものがあり、ほほえましいです。問屋衆、漁師衆など業界の繁栄祈願、村中、氏子中など地域の安全、繁栄祈願と分けることができます。玉島の狛犬では17件寄進者が確認できます。

(siryo-kisinsya) 漁師衆（黒崎・御崎大明神・嘉永6年）というのは

面白いですね。時代ですから、外国船に対しての安全祈願か、大漁安全祈願か想像すると面白いです。昭和になるとすべて個人の寄進となっています。他地区からの寄進（羽黒神社・阿州藍講中、神崎神社の大阪の人）もあります。狛犬もかなり高額だったと思われるので、そう簡単に寄進とはいかなかったでしょう。

3・石工（細工人）

大阪の石工、玉島、金光の石工（細工人）などが刻んでいます。大阪石工の狛犬（羽黒神社・寛政3年）は大阪で製作されたものでしょうし、（船積み寄進もある）塩釜神社も大阪の岡田屋庄助となっています。玉島では玉島仲買町安田屋新蔵という細工人が刻んでいます。現在まで5対の狛犬を確認していますが、玉島以外に連島や鴨方に彼の彫った狛犬があります。



石造物でわからないのは、現地で彫ったのか、彫ったものを運んだのかというのがあ

ります。狛犬はたぶん後者でしょう。余談ですが、尾道の石工が玉島海徳寺に磨崖仏を彫っています。これは出張製作でしょう。石垣を組んだり石の需要は多くあったので石工も多くいたでしょうが、狛犬を刻んだ石工は技術力かプライドか細工人を名乗ったのでしょうか。心意気がわかりますね。

4・狛犬の形 (siryo-komainu-kata)

玉島の狛犬の形を見てみよう。37対のうち座っている狛犬が16、鞠を抱いている狛犬が15、尾を跳ね上げた狛犬2、その他4となるが時代と座形と鞠形の関係を見ると、寛政から嘉永までは座形があり天保になって鞠形が現れ安政以後は鞠形になっている。寛政、文化の羽黒神社、戸島神社など海上の運送が容易な大阪から座形が入ってきたのでしょう。

5・角 (siryo-tuno)

角があるのは呬形のみです。玉島の狛犬で形と角の関係を調べると、文政年間までは全て角があります。形は座形です。羽黒神社をはじめ、座形の製作地は大阪近郷だと推測できます。さらに時代は抜きにして形別の角は座形56%、鞠形33%で跳ね上げ尾の形は0%座形の大原焼狛犬にも立派な角があります。角を調べるのも結構面白く角があったときは何故かほっとします。



6・性別

羽黒神社の狛犬などはっきりシンボルが認められるものがあります。余興に記録しています。

7・サイズ (資料-玉島犬の大きさ)

本体の高さを計測しています。本体とは狛犬が乗っている四角の石から上で狛犬と一体になった部分です。阿形、呬形で大きさが若干違いますが、ほぼ同じなので、阿形の高さを集計しています。60cm～120cm代までありますが、ほとんどが70cm～110cmです。狛犬の重量は測っていませんが100cmを超える狛犬をどんなにして運んだのだろうかと思ってしまうのも面白いですね。

7・狛犬あれこれ

どの狛犬も建立の意味があるのですが、歴史的に見たり、狛犬が面白いものをご紹介します。

A・羽黒神社狛犬

玉島で一番古い狛犬です。座形の狛犬は大阪で製作され、船で玉島に運ば



れました。石工は細工人大坂西横堀名田屋五良兵衛、

船積寄進淀屋金兵衛、寄進は阿州藍問屋、寛政3年

(1791年)、土台の寄進は玉島の間屋衆7名が寄

進しています。玉島は綿の積み出しが多くあり、徳島の藍問屋とのつなが

りが多くあったので、寄進したのでしょう。船積み、台座は玉島の間屋が

受け持ったのです。羽黒神社の前は往時は海であり、高瀬通しの舟溜まり

があったので、北前船で運ばれてきたと思います。寄進をした徳島の藍問

屋は丸亀や成羽にも狛犬や、玉垣を寄進をしています。すべて記録が残っ

ており、玉島の狛犬の説明はこちらを利用しています。

B・戸島神社狛犬と八幡山神社狛犬



どちらの狛犬も文化13年（1816）の寄進です。今は海から遠くになりましたが、

両神社ともすぐ下まで海が来ていました。距離は700mくらいでしょうか。

両神社の狛犬の姿は異なりますが、座形で角あり、性別も雄にはシンボルが彫られて

ています。石工のユーモアが面白いですね。さらに寄進者が9名の問屋さんでしよ

うか同じ人が刻まれています。両神社は同じ年に同じ人たちによって寄進されたも

のです。さらに、戸島神社に残っている鬼瓦によると瓦に文化13年と彫られてい



ます。

宮司さんの話をお聞きしましたら、文化13年は拝殿が建立



された年ですから、拝殿新築にあわせ、狛犬を寄進したことが想像で

きます。乙島は船持、事業家が多く皆さんの喜びが伝わってきます。

C・玉島黒崎・御崎大明神狛犬



御崎大明神には東参道に座形狛犬、西

参道に鞠形狛犬がいます。東参道の狛

犬は嘉永6年（1853）小原漁師中の寄

進です。嘉永6年はペリーの黒船が浦

賀に来航した年であり。幕府から異国船来航につき祈祷をするよう（7社7寺、つ

づいて22社）に命じています。外国に右往左往していた時代です。こういう時代

で漁師中で寄進したのか、漁の安全、大漁を祈願したのかわかりませんが（多分後

者)、このように考えると面白いですね。西参道の鞠形狛犬は石工が、占見新田とあり、その後が判読できませんが、山を越えた金光の石工が彫ったものでしょう。玉島、金光にも狛犬を彫る石工がいたのですね。

D・羽黒神社にある大原焼き狛犬

里庄町に大原焼きがあります。現在では殿山窯が1軒だけですが奈良時代からあり、家庭生活用品（かまど、くど土鍋など）を生産し大変栄えていましたが、生活様式の変化で昔からの大原焼きは衰退しました。この大原焼きでできた狛犬が羽黒神社



の拝殿と本殿の間にあります。座形ですがほとんど胡坐をかいた狸のような形をしています。阿形、吽形とありますが、阿形のほうは壊れかかっています。吽



形のほうには角もあり面白い形をして健在です。狛犬の背中に年代、寄進者が彫られています。この方法は備前焼と同じですね。年代は文久元年（1861）、寄



進者・林氏、西崎兼三郎、瀬尾助治とあります。殿山窯の6代目社長によると里庄の神社に大原焼きの狛犬があるそうで、見せていただけるので楽しみにしています。余談ですが河合継之助の塵壺によると安政6年に玉島に来ているので、それから2年後に寄進されています。

E・早御崎神社（稲荷神社）



かつて賑わった玉島通り町の裏手にある備前焼狛犬です。早御崎神社と彫られた御影石台座の上にこの狛犬はあります。年代は明治 31 年（1898）、石工竹太郎。



なんと恐ろしいような狛犬で、備前焼としてもこんなスタイルは見たことがありません。備前焼陶工名もありません。吽形のみで阿形狛犬はありません。最初は石の狛

犬があったのが、何らかの事情でなくなり、この狛犬を持ってきたのかと思っていましたが、どうやらそうではなく、狛犬に合わせて台座を作ったようです。丁度後足の部分が足を置くように膨らんでいます。

明治 32 年に玉島村、阿賀崎村（上成は明治 22 年に玉島と合併済）が合併し玉島町になっています。このころは通り町は多くの商店ができ繁栄していました。

F・神崎大明神狛犬



神崎大明神には鳥居下に文化 8 年（1811）、大坂の人が寄進した座形狛犬、拝殿

前狛犬と本殿の裏手もう 1 対、計 3 対の狛犬がいます。拝殿前の狛犬は昭和 37 年（1962）の寄進で鞠を抱いた形です。面白いのは通常向かって右側が阿形で左が吽形なのですが、神崎大明神の狛犬は右が吽形、左が阿形になっています。

会報・32－玉島中買町安田屋新蔵制作の狛犬

の比較

内 容	連島・厳島神社	連島・天津神社	玉島最上稲荷	鴨方・大歳神社	柏島・柏島神社
全体の型	鞠形(尾道型)	子犬とじゃれる	鞠形(尾道型)	子犬とじゃれる	鞠形(尾道型)
阿形(耳)	たれ耳	横ピン	たれ耳	横ピン	たれ耳
吽形(耳)	横耳	横ピン	たれ耳	横ピン	たれ耳
尻尾	扇	扇(火炎)	扇・2列	扇・2列	扇頭より高い
年代	天保11年 1840	天保12年 1841	天保9年 1838	弘化2年 1845	嘉永元年 1848
台座彫り物	牡丹	なし	牡丹	牡丹	牡丹
台座の形	箱型	箱型	箱型	水盤	箱型
その他				土台石＝自然石	



玉島中買町に細工人安田屋新蔵という狛犬を彫った石

工がいたようです。いろいろ調べてもいましたが、安

田屋新蔵さんの消息はわかりませんでした。

現在までにわかっている安田屋新蔵の狛犬は表のとおりです。



天保 1 1 年（1840）～嘉永元年（1848）の 8 年の間に彫られたものですが、ほかにもあるかもわかりません。最初、厳島神社を調べた段階では、鞠形（尾道型）を見たのでこの形を彫るのかなと思っていたら、天津神社、大歳神社では子犬とじゃれたのを彫っています。細工人というだけあり狛犬のデザインに独創性を発揮しています。神社も玉島だけではなく、連島、鴨方とあります。鴨方の大歳神社のものは本体の台座に名前が彫られています。通常土台石に彫られているので、この点もデザインとともに面白いですね。

H・総社下倉・八幡神社



江戸時代、備中松山（現・高梁市）から玉島にくるには、いろんなコースがありましたが、美袋から玉島へ抜ける玉島往来がありました。美袋で高梁川の西にわたり 7 0 0 m くらい



下流に八幡神社があります。神社の手前に子供をあやす

狛犬がいます。阿形、吽形とも子犬がじゃれています。

台座も立派な彫りがあり、その下は臺があります。土台

石に「尾道石工山根屋源四郎作」とあります。かつて備中狛犬探検隊が創設のころ、

尾道の石工のことが知りたくて、尾道教育委員会をたずねました。そこで「備後国
ぺ・字設定 40*20=800 字

尾道石工の研究―特に山根（屋）系の石工について―という資料をいただき、勉強していましたが、総社のこの地に山根屋源四郎作狛犬を発見したときは感動しました。製作したのはどこの場所だろうかとか、尾道で彫って持ってきたのか？、石を運びこの場所で彫ったのか・山根屋源四郎のどの人かなどもっと知りたいことがあります、これは今後の課題でいいでしょう。狛犬ではないですが、石工山根屋



源四郎作の石灯籠が矢掛町・福頼神社にあります。安政3年（1856）とあり、狛犬より11年後ですが、尾道の石工の活躍が想像できます。広

島県大崎上島・古社八幡神社にも石工山根屋源四郎の立派な狛犬（嘉永5年・1852）

があります。この島では石工山根屋源四郎は伝説にもなっていました。

I・京都八坂神社



京都国立博物館へ狛犬展を勉強に行きました。そのとき八坂神社の狛犬も調べましたが、狛犬の前に水谷勝隆寄進の石灯籠（寛文3年 1663）を発見しました。大発見

です。びっくりしましたが、狛犬のお陰だったのでしょうか。

おわりに

狛犬の形を、座形、鞠形などとしましたが、備中狛犬探検隊では大型（座形）、尾道型（鞠形）と呼んでいます。勉強の最初、大坂、尾道、出雲で作っているのだと思っていたので呼び方のイメージができてしまいました。現地を調査した記録ですが、思い込み、判読の難しさなどあり間違っているところがあるかもしれません。狛犬が待ってくれています。狛犬探検を進めると、楽しい気分になってきます。分類とか記録など難しいことは後をついて来るでしょうから、狛犬探検では多くの協力者、友人を作りながら、これから10年、狛犬を通じて、歴史の勉強や会食を、大いに楽しもうと思います。

備中狛犬探検隊の腕章をつけて探検

最近では神社でも盗難があります。ひどいのは狛犬の盗難もあるのです。さすがに石の狛犬は取られません、備前焼狛犬は盗難にあっています。探検には5人くらいで行くことが多いので、神社に着くと社務所があればそちらに挨拶します。ない場合はそのまま探検しますが、いつのまにか回りに人が集まってきます。私たちは備中狛犬探検隊であり狛犬の調査をしていると説明します。探検隊であるというブルーの腕章をつけて活動します。